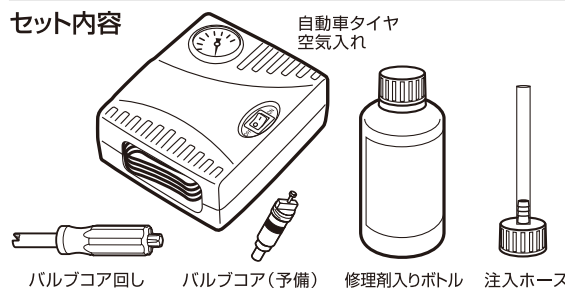


パンク応急修理キット 取扱説明書

適用範囲	軽～小型乗用車タイヤ
修理可能タイヤ幅	165mmまで

この説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。



応急修理する前に

路上で作業を行う場合は、交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面が固くて平らな場所に移動し、自動車の非常点滅灯(ハザードランプ)を点滅させてください。

ご使用になる前に

本紙裏面及び修理剤入りボトルにも注意事項が記載されています。必ずよく読んでお使いください。

本製品は応急修理用です。応急修理後はすみやかにガソリンスタンドやカー用品店、カーディーラーなど、パンク修理ができる業者まで移動し、パンクの完全修理を行ってください。

警告

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・本製品はトランク、ラゲッジルームなどに保管してください。
- ・タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。タイヤが重大な損傷を受け、応急修理中に破裂する恐れがあります。
- ・タイヤに空気を入れている最中に亀裂や変形が発生した場合は、自動車タイヤ空気入れのスイッチを切り、応急修理を中止してください。
- ・必ず空気圧を確認して応急修理の完了を確認してください。
- ・応急修理後の運転は急ブレーキ、急ハンドルなど急激な操作を避け時速80km以下で走行してください。
- ・自動車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルを取られる場合はタイヤがホイールから外れていないか、空気圧が130kPa以上入っているかを確認してください。

注意

- ・修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合はできるだけたくさんのお水を飲み、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・もし修理剤が目に入ったり、皮膚に付いたりした場合は、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- ・子供が誤って手を触れないようにご注意ください。
- ・適用範囲以外の車種に使用しないでください。

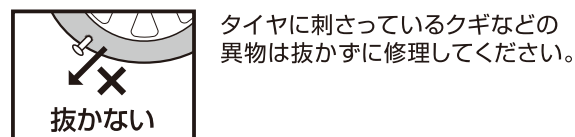
使用上のご注意

- ・分解や改造などしないでください。
- ・子供の手が届かない場所に保管してください。
- ・自動車タイヤ空気入れの作動中は大きな音がしますが故障ではありません。
- ・バルブコア回しを使用する時は手で回してください。工具などを使用すると破損する恐れがあります。
- ・取り外したバルブコアは汚れないように保管してください。
- ・寒冷地などの低温環境下では修理剤を注入しにくい場合があります。この場合は車内などで温めて使用してください。

・修理業者にタイヤ交換または完全修理を依頼する際にはタイヤパンク修理剤を使用したことをお知らせください。
・キャップはしっかりと締めてください。
・吸音スポンジ付のタイヤには使用できません。

修理の前に

タイヤの損傷程度を確認してください。



次の場合は、応急修理できません。カーディーラー又はロードサービス業者にご連絡ください。



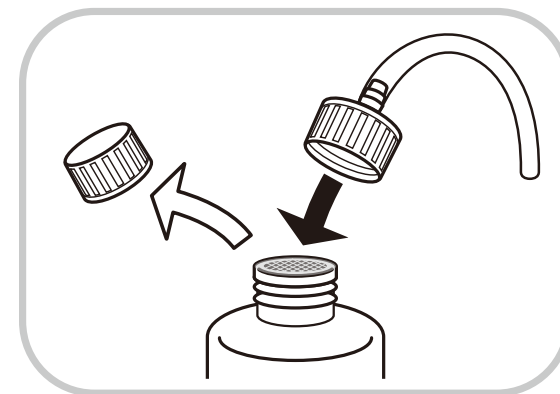
応急修理キットの点検について

パンク修理剤には有効期限があります。有効期限が切れる前に新しい修理剤に交換してください。有効期限の確認は定期的に行い、有効期限の切れた修理剤は使用しないでください。

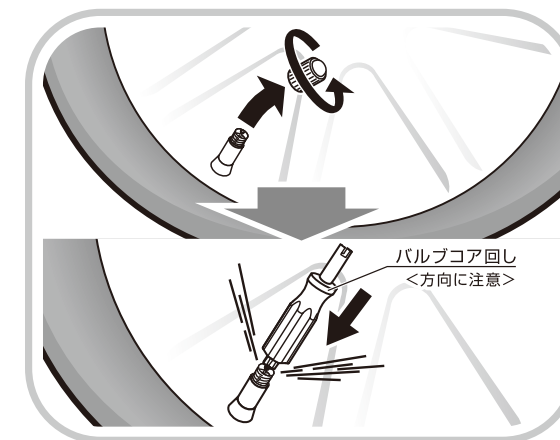
1 ボトルをよく振ってください。



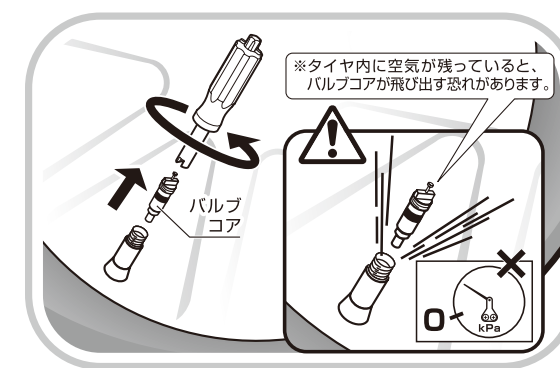
2 キャップを注入ホースに取り替えてください。



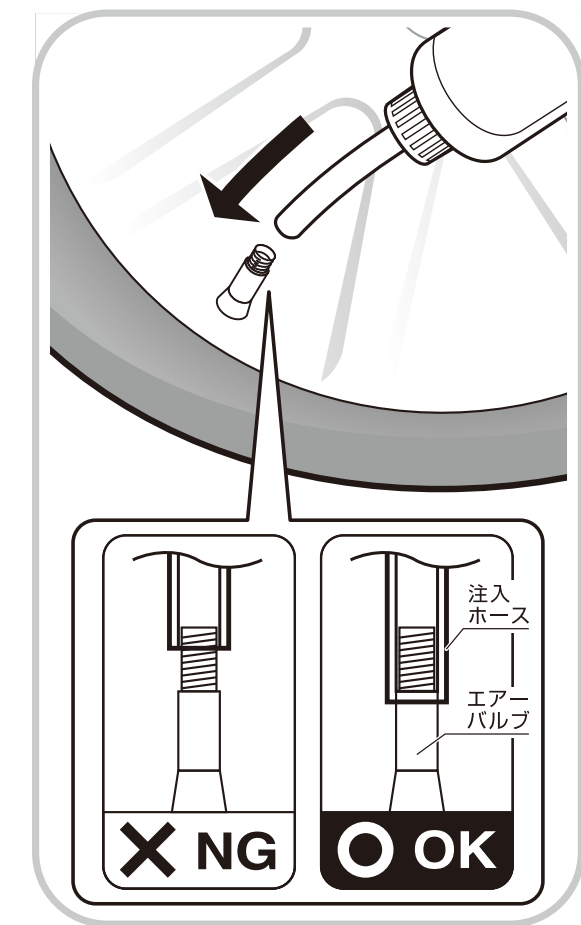
3-1 タイヤの空気を抜ききってください。



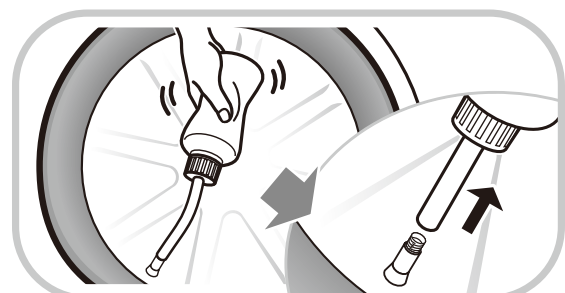
3-2 バルブコアを取り外してください。



4 注入ホースをタイヤのエアバルブに、はめ込んでください。



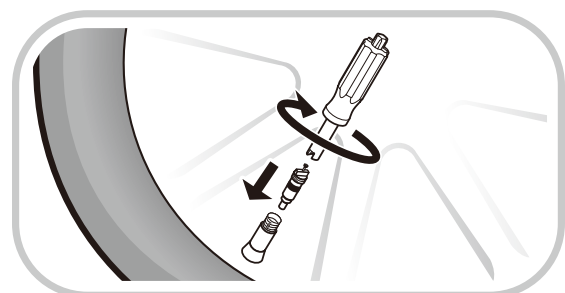
5-1 修理剤を全て注入してください。



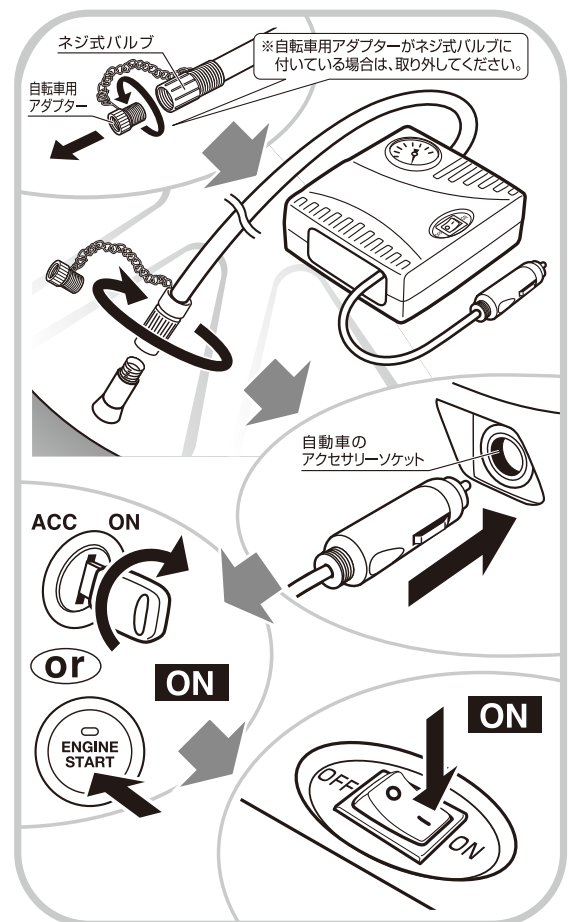
5-2 袋に入れ、口を閉じて保管してください。



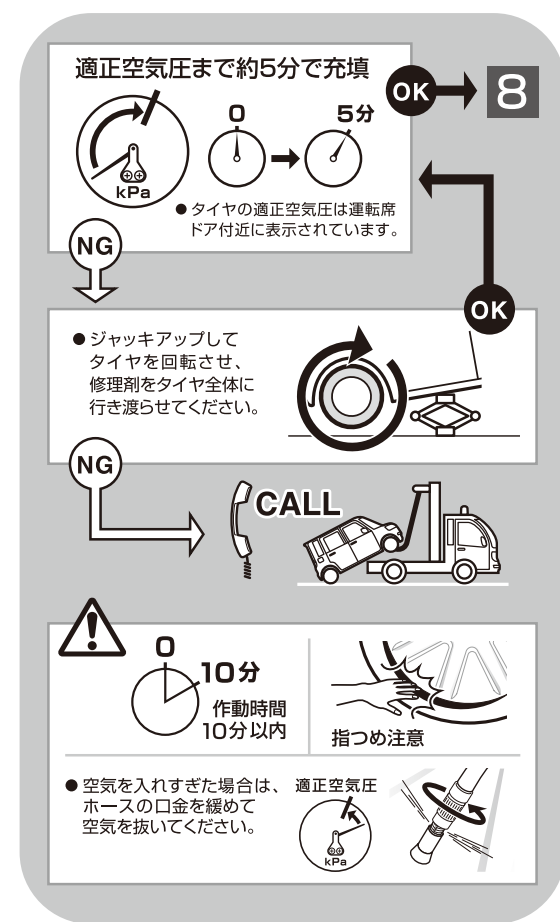
5-3 バルブコアを取り付けてください。



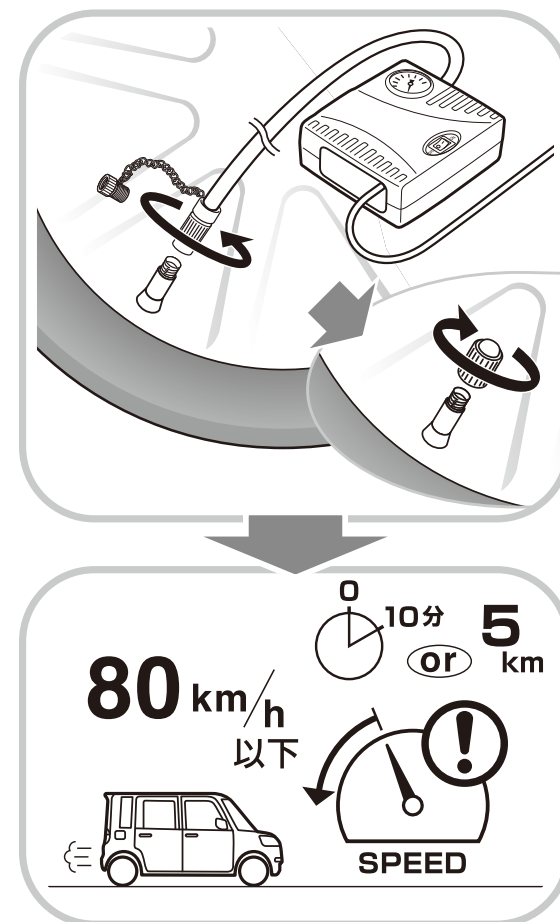
6 “自動車タイヤ空気入れ”を取り付けてください。



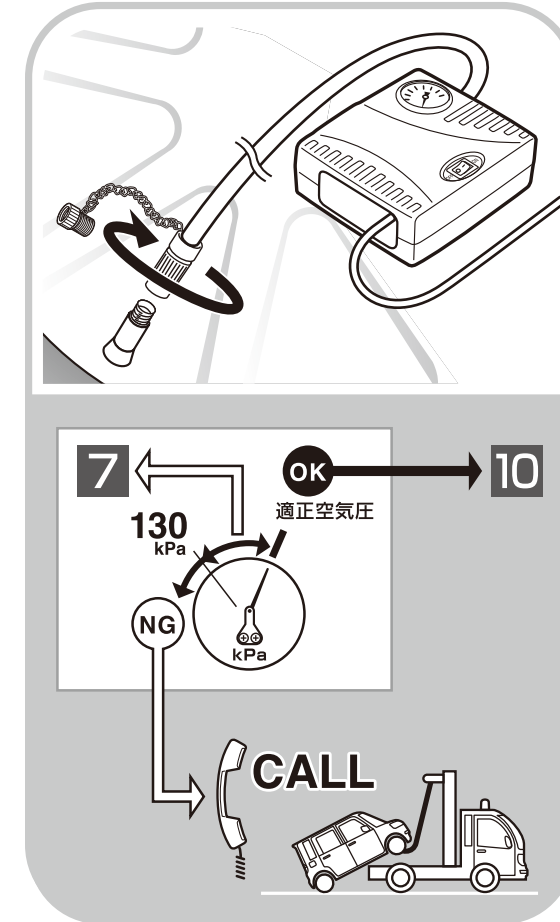
7 適正空気圧まで空気を入れてください。



8 走行して修理剤をタイヤ全体に行き渡らせてください。



9 空気圧を確認してください。



10 修理業者まで走行してください。

